

学校教育目標	<目指す学校像> 「えがおいっぱい ふれあいいっぱい あたたかさいっぱい」 ○気持ちや思いを表現する力を育てます。(知) (徳) ○健康な体と豊かな心を育てます。(体) (徳) ○地域の一員として自立する力を育てます。(公) (開)				
	創立 36 周年 幼稚園:	学校長 福島 豊 小学部: 26人	副校長 大久保 彰浩 中学部: 11人	2 学期制 高等部本科: 10人	幼児・児童・生徒数 47 人 専攻科:

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	「12年間で育てる子ども像」と 具体的取組
①気持ちや思い、意思を表現する意欲と力 ②自分に合わせた健康の保持増進と、よりよく生きようとする意欲と力 ③地域の中で主体的に自立して生活する意欲と力	健康の保持増進を図りながら、人との関わりを喜び、自分なりの表現することを通して地域の一員として自己実現を図る子ども 児童生徒一人ひとりの個性と障害の状態に応じた適切な教育を通して、その持てる力や可能性を最大限に伸ばし、子どもたちの自己実現を支援します。特に、健康の保持増進を図りながら、他との関わりを喜び自分の気持ちや思いを表現しようとする意欲と力を育てます。また、多くの経験を積み重ねることで豊かな心を培い、地域の一員として主体的に社会参加し自立するための力を育成します。

中期取組目標	○ 肢体不自由特別支援学校としての高い専門性のある学校を目指す ①授業力・指導力の向上 ②個に応じた的確な指導の充実 ③自己肯定感を育む指導の充実 ○ 関わりを大切にする学校を目指す ①組織的かつ柔軟な支援体制の構築 ②風通しの良い職場環境の醸成 ③保護者や地域・関係機関との連携強化 ○ 誰もが安心できる学校を目指す ①支援体制の整備 ②施設・設備の充実 ③危機管理体制の再構築
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 教育課程編成部 連絡調整会	①多様な児童生徒の実態に合わせた教育課程の編成を行います。時間割や指導形態、各教科の学習内容の検討をします。 ②新学習指導要領を踏まえた授業改善を定期的に行うために、授業の計画や反省を充実させます。
豊かな心 担当 特別支援部	①東俣野小学校との交流に関して、コロナ禍であることを踏まえながら、充実した活動を創意工夫して実施します。 ②教職員の人権意識を高め児童生徒の自尊感情を育む指導を行います。
専門性の向上 担当 情報教育部	①ICT機器の活用の充実を図り、一人1台の端末を教育活動の中で有効活用し、コミュニケーションや興味関心の広がりを目指した教育活動を展開します。
開かれた学校 担当 主幹教諭 PTA担当	①学校運営協議会を10月設置を目指し、準備をします。 ②学校運営協議会を通し、地域や関係機関の方とともに学校の現状や課題を共有します。 ③保護者に対しPTA定例会など迅速かつ正確な情報提供を行います。
安心・安全な学校 担当 保健安全部	①新型コロナウイルス感染症対策として市教委からの通知を基に、本校の感染症対応ハンドブックづくりを通し、感染症予防に努めます。 ②危機管理マニュアルの見直し、防災防犯に対する備品の充実を図ります。
キャリア教育 担当 進路支援部	①「キャリア教育段階表」を校内で周知し、授業に活用します。 ②キャリア教育の視点で小学部、中学部、高等部の学部を意識し、連続性・系統性のある指導を行います。
いじめへの対応 担当 各クラス 連絡調整会	①日々のクラスでの反省を充実させ、児童生徒の小さな変化を見逃さずに共有し、対応できるようにします。 ② 毎月の連絡調整会において、いじめや人権に関わる事案の確認を行います。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 総務部 管理職	①働き方改革として業務の効率化を図ります。特に会議の持ち方、回数を精選し、教材研究のできる時間を捻出します。 ②教職員から働き方改革に対する様々なアイデアを募り、魅力ある職場づくりを推進します。